



Stories for the 72nd English Reading Contest 2024

[2024年度 第72回 (後期) 英語朗読コンテスト テキスト]

もっと

英語に自信をつけたい!



英語朗読

コンテスト

朗読のチェックポイント

- ① 流ちょうさ (Flow)
意味のまとまりを意識して、すらすらと読んでいるかな?
- ② 発音 (Pronunciation)
発音や音の高低と強弱を正しく読んでいるかな?
- ③ 演技力 (Character and Drama)
登場人物になりきって、表現力たっぷりに読んでいるかな?
- ④ 態度 (Attitude)
自分から進んで、楽しんで読んでいるかな?

模範音声を何度も
聞いて練習しよう!

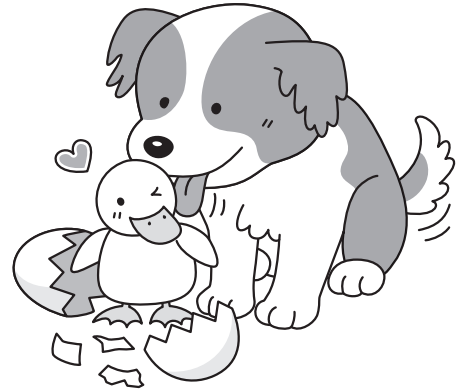


共催：教育開発出版株式会社
株式会社エデュライン



The Puppy and the Duckling

- ① It is time for the last egg to hatch.
- ② Crunch! A tiny, fluffy head appears and blinks in the sun.
- ③ The last duckling is here, but where is Mommy Duck?
- ④ Mommy Duck is busy with the others.
- ⑤ “Woof!” The farm’s puppy comes to see the new baby.
- ⑥ “Are you my Mommy?” squeaks the new duckling.
- ⑦ “Woof!” The puppy barks again and licks the duckling’s soft and fluffy head.
- ⑧ “Mommy!” The new duckling squeaks happily.
- ⑨ This duckling’s Mommy has four legs and a long fluffy tail, but the last duckling follows her everywhere.



(92 words)

こいぬとアヒルのこ

- ① 最後の卵がふ化する時が来ました。
- ② バリバリ！ 小さくてふわふわした頭が見え、太陽に照らされてまばたきをします。
- ③ 最後のアヒルの子が生まれましたが、お母さんアヒルはどこにいますか？
- ④ お母さんアヒルはほかのアヒルの子の世話で忙しくしています。
- ⑤ 「わんわん！」農場の子犬が、生まれたばかりのアヒルの赤ちゃんを見に来ます。
- ⑥ 「あなたは私のママ？」生まれたばかりのアヒルの子が鳴きます。
- ⑦ 「わんわん！」子犬はまたほえ、アヒルの子のやわらかくてふわふわした頭をなめます。
- ⑧ 「ママ！」生まれたばかりのアヒルの子がうれしそうに鳴きます。
- ⑨ この最後のアヒルの子のお母さんには、4本脚と長くてふわふわしたしっぽがありますが、アヒルの子は彼女のあとをどこまでもついていきます。

Kenny, the Koala

- ① Sam was wondering what to buy Sophie, his friend, for her birthday.
- ② He asked her sister Rachel for help.
- ③ “Well, she loves koalas,” suggested Rachel.
- ④ Giving Sophie a real koala was impossible, but Sam had an idea.
- ⑤ He started searching online.
- ⑥ Finally, he found what he was looking for.
- ⑦ It was the morning of Sophie’s birthday.
- ⑧ “Happy birthday!” grinned Sam. “Here’s your present.”
- ⑨ Sam handed Sophie an envelope.
- ⑩ She opened it and saw a picture of a koala.
- ⑪ The message said, “Thank you for sponsoring me. Love, Kenny.”
- ⑫ Sophie was puzzled. “What’s this?” she asked.
- ⑬ “I sponsored Kenny for you. You’ll receive updates from his zoo in Australia,” explained Sam.
- ⑭ “The money I spent will help Kenny.”
- ⑮ “What a great idea! Thank you!” Sophie beamed.



(125 words)

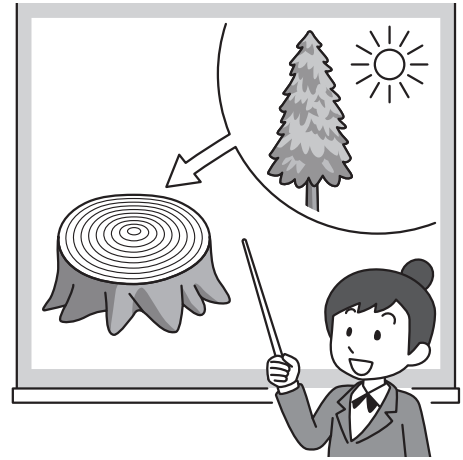
コアラのケニー

- ① サムは、友達ともだちのソフィーたんじょうびの誕生日なにに何をか買うべきか悩んでなやいました。
- ② 彼は彼女かのじよの姉あね〔妹いもうと〕のレイチェルたすに助けを求めました。
- ③ 「そうね、彼女かのじよはコアラだいすが大好きよ」とレイチェルていあんは提案もとしました。
- ④ ソフィーほんものに本物のコアラをあげるのは不可能ふかのうでしたが、サムには考えかんががありました。
- ⑤ 彼はオンラインかれで検索けんさくし始めほじました。
- ⑥ ついに、彼は探さがしていたものを見つめました。
- ⑦ ソフィーたんじょうびの誕生日あさの朝あさでした。
- ⑧ 「お誕生日たんじょうびおめでとう！」サムはにっこりと笑わらいました。「プレゼントをどうぞ。」
- ⑨ サムはソフィーふうとうに封筒てわたを手渡てわたしました。
- ⑩ 彼女かのじよがそれを開ひらくと、コアラしゃしんの写真はいが入はいっていました。
- ⑪ メッセージには「ぼくしえんを支援しえんしてくれてありがとう。ケニーかより。」と書かいてありました。
- ⑫ ソフィーとまじは戸惑ないました。「これは何なに？」と彼女かのじよはたずねました。
- ⑬ 「きみのために、ケニーかれのスポンサーくになったんだよ。オーストラリアどうぶつえんにある彼かが暮くらしている動物園さいしんから、最新さいしん情報じょうほうを受け取とれるんだ。」とサムは説明せつめいしました。
- ⑭ 「ぼくはらが払はらったそのお金かねが、ケニーやくだのために役立やくだてられるんだよ。」
- ⑮ 「なんてすばらしい考えかんがなの！ ありがとう！」ソフィーわらはにっこりと笑わらって言いいました。

Learning History from Trees

あなたは木について調べた内容を発表することになりました。

- ① Did you know that trees can tell us about the past?
- ② Trees can live for hundreds or thousands of years, and they keep a record of the past in their trunks.
- ③ Looking at a tree stump, you can see large numbers of rings.
- ④ The greater the number of rings, the older the tree.
- ⑤ You can count the dark rings to learn the age of the tree.
- ⑥ Wide, light-colored rings represent spring and summer growth, while thin, darker-colored rings grew in the fall and winter.
- ⑦ In warm, wet years, the rings are wide, but in colder years, the rings are thin.
- ⑧ Scientists can use this information to understand climate and weather in the past.
- ⑨ They can do this with fossilized trees, too.
- ⑩ These fossils can tell us about the climate millions of years ago, and help us understand climate change today.
- ⑪ Trees are important to us in many ways, so let's take care of them for future generations.



(157 words)

木から歴史を学ぶ

- ① 木が過去について教えてくれるということを知っていましたか。
- ② 木は数百年、あるいは数千年と生きることができ、幹に過去の記録を残しています。
- ③ 木の切り株を見ると、たくさんの年輪があるのがわかります。
- ④ 年輪の数が多ければ多いほど、その木は古いのです。
- ⑤ 樹齢を知るために、濃い色の年輪を数えることができます。
- ⑥ 広くて明るい色の年輪は春と夏の成長を表し、狭くて濃い色の年輪は秋と冬に成長したものです。
- ⑦ 暖かく雨の多い年は年輪が広く、寒い年には年輪が狭くなります。
- ⑧ 科学者たちはこの情報を利用して、過去の気候や天候を理解することができます。
- ⑨ 化石化した木でも同様に、これを行うことができます。
- ⑩ これらの化石から、私たちは数百万年前の気候について知ることができ、今日の気候変動を理解するのに役立ちます。
- ⑪ 木は私たちにとって多くの面で重要なので、将来の世代のために大切にしましょう。